

令和4年度 美唄養護学校 第2回学校評議員会

1 日 時 令和4年（2022年）12月12日（月）10：00～11：30

2 会 場 北海道美唄養護学校 訪問教育学級教室での参集とオンライン
※新型コロナウイルス感染症等の状況により、両方法で実施。

3 出席者 評議員3名

稲村 秀樹

（ピートエアインコーポレーション顧問）

大山 祐太

（北海道教育大学岩見沢校 准教授）

高城久美子

（北海道美唄養護学校 PTA 研修部長）

学 校3名 校長、教頭、事務長



4 内 容

- （1） 学校長挨拶
- （2） 令和4年度学校評価（速報値）について
- （3） 学校運営協議会（コミュニティースクール）の設置に向けて
- （4） 意見交換

5 評議員から学校へのご意見等

A 評議員	【学校評価について】 評価について、保護者評価と教職員評価の平均値に差があることについて、ここ数年のコロナ禍にある制限等による双方のとらえ方が異なるのかもしれない。コロナ禍でも限られた中で教職員は口頭などでもコミュニケーションを図りながら、保護者との共有は以前よりは書面やメールなどになっていることもあるかもしれない。
B 評議員	通学生は直接話をやり取りできたり、連絡帳で情報共有ができていたが、コロナ禍で学校に来ることが少なくなっている今、直接コミュニケーションを取ることが難しくなっていることもあるかもしれない。
A 評議員	【次年度から実施の学校運営協議会（CS）について】 CS はよい方向に進めば、良い取り組みになるが心配な点もある。学校（先生方）の負担だけが増えないかという心配である。先生方が CS 業務が増え普段の授業がおろそかになってはいけない。このことに気を付けて、会を進めていかなければならないと思う。
B 評議員	ニュースなどでも教員の多忙感が報道されている。負担ばかりが増えないように地域が協力してくれるとよいと思う。
C 評議員	美唄市にある特別支援学校であるので、地域と交わりを深く持ってほしい。美唄市は福祉のまちづくりを進めている。福祉のまちとして障がいのある方が住みやすい街づくりにも関連してと思う。このことから CS を良い方向に進めていただきたい。